

2020 年 1 月 20 日

## 2020 年 頭取年頭挨拶

当行は、年頭挨拶を、頭取（笠原 慶久）から全行員に向け次のとおりメッセージを送りました。

### 記

- はじめに
- 1. 経営品質元年
- 2. 仕事のやりがい
- 3. アジリティ
- 結びに

《本件に関するお問い合わせ》  
九州フィナンシャルグループ 広報・IR 部  
担当：小西  
電話 096-326-5607

## ● はじめに

笠原です。皆さん、新年明けましておめでとうございます。行内放送局は、昨年の新年配信から本格始動しましたので、今日で1周年となりました。そして今年は「ねずみどし」。十二支の一番手であり、新しいサイクルの始まりです。未来に向け、希望に満ちた新年初日を迎えるにあたり、どういう年にしたいか、昨年同様、今年も3つに纏めてお話しします。

### 1. 経営品質元年

まず1つ目、今年を「経営品質元年とし、徹底的にお客様の役に立つ年」にしたいということです。昨年は「仕事の品質を徹底的に高める年」とし、「日本経営品質賞」に挑戦、見事受賞となりました。その過程で、水道町支店や大津支店での現地審査がありましたが、「スタッフも含めた従業員一人ひとりが、企業理念を自分のものとして消化し、日々の業務で体現していること」が高く評価されました。現場が企業理念を軸に頑張っていることを、とても嬉しく思っています。

しかし、評価の内容は「求める価値の実現に向け、必要な取り組みは実施され、独自性のある取り組みが生まれ始めています」というレベルです。つまり「お客様起点に拘った品質を高めようとする枠組み」が、組織に浸透されつつあることが受賞に繋がったのであり、我々の今の品質が格段に素晴らしい、ということではまだない、ということ、謙虚に受け止める必要があります。経営品質賞受賞企業として、私たちは、真にお客様や地域の役に立つ会社となるためのスタートラインに立った、そういう段階だ、ということです。よって、今年2020年は、「経営品質元年」と位置付け、営業、事務、店舗など、あらゆる仕事の品質を高め、「徹底的にお客様の役に立つ年」としましょう。

### 2. 仕事のやりがい

次に2つ目ですが、今年を、「仕事を楽しみ、やりがいを高める年」にしたい、と思います。皆さん、仕事を楽しんでいますか？やりがいを感じていますか？今イエスと言える人も、言えない人もいるとは思いますが、今年は一人でも多くの方が、働くことが楽しくて、やりがいがあると感じられる年にしていきたいと思っています。それには、まず、利他の精神を持ちましょう。

利他の他は、同僚だったり、お客様だったり、地域だったり、仕事によって色々ですが、仕事を通じて人の役に立つことができれば、感謝され、褒められ、嬉しくなり、やりがいを感じられる。そしてそういった日々が続けば、毎日ワクワクし、仕事が楽しくなります。私がいつも言っている企業理念を実践することも、利他の精神そのものであり、地方銀行ほど、人の役に立つことが本業であるような素晴らしい職場は、なかなかありません。私としても、皆さんが働きやすい環境を整備したり、制度を直したりしていきますので、皆さんは、能力アップに努め、お客様のため、地域のため、そして同僚のために力を尽くし、結果、「仕事を楽しみ、やりがいを高める年」になるようにしてほしいと思います。

### 3. アジリティ

最後の3つ目は、ねずみ年らしく、「失敗を恐れず、機敏に行動する年」にしたい、ということです。キーワードは英語で、「アジリティ」。意味は、どちらに進むかということも含めて、機敏に動くということです。バスケットボールのような動きです。環境変化の激しい今、「アジリティ」を重視した勇気ある行動を通じ、試行錯誤もしつつ、「失敗を恐れず、機敏に動く年」とし、時代と共に変化する素晴らしい金融グループを目指していきたいと思います。

#### ● 結びに

結びに、今年は「新創業 2020」の総仕上げの年であるとともに、九州フィナンシャルグループとしても、第2次中計の最終年度として、融合を具体化する年であります。中計の最後を飾れるよう、各自の持ち場で、計画を結実させてほしいと思います。

以上ですが、繰り返しますと、今年は、「経営品質元年とし、徹底的にお客様の役に立つ年」、「仕事を楽しみ、やりがいを高める年」、そして「失敗を恐れず、機敏に行動する年」であります。今年も、皆で力を合わせ、元気に頑張っていきましょう。

以 上